

ちち こ せいれい
父と子と聖霊

かみ はたら
神の働きかけ

わたし
私たちが神のことを知っているといっても、ごく
限られたことだけです。神からの働きかけを受ける

かみ
ことによつて、神のある面を知っているにすぎません。
おな にんげん
同じ人間でも、その状態によつて受けとり方も変わ
つてきます。まして、違う人間なら感じ方もそれぞれ
ちが
違います。

かみ
神さまからの働きかけをどんなふうに感じている

か、つぎの空白に書いて下さい。

ちち こ せいれい
父と子と聖霊

ところで、イエスさまは、洗礼のときに、「父と子と
せいれい な
聖霊の名によつて」授けなさいと言われていますが、

これはどんな意味があるのでしょうか。

ちち かみ
父なる神は、万物の創り主として描かれています。

きめうやくせいしよ で
旧約聖書に出てくる父なる神は、きびしく人をきた

すがた えが
えていく姿で描かれています。しかし、いつでも、

こんなん
どんな困難にあっても、信頼できることを人々に教え
ひとひと おし
ています。

こ
子としてのイエスさまは、力のない人や、病人や、

まず
貧しい人に手をさしのべる愛の姿で描かれています。

はんめん りつぽうがくしや かねも けんりよく も
その反面、律法学者や、金持ちや、権力を持った人に

たい
対しては、ののしることもします。イエスさまは、大

ちから だ
いなる力を出すことなく、あえて十字架の死をす

んでひき受けていきます。

せいれい
聖霊は、弟子たちの活動をささえる原動力です。

しとげんこうそく しめやく せいれい
使徒言行録の主役は聖霊です。弟子たちは、その道具

み
とさえ見なされています。

ひと
人は、こうした描写を通して、神の働きかけを、
ひょうしや とお
しっかりとつかむことができます。

